

報 告

あかいけ

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 No.131号

町の人口

(8月末日現在)

総人口	8,896人
男	4,175人
女	4,721人
世帯数	2,665世帯

昭和四十七年度敬老会盛大に挙行

さる九月十五日(金)昭和四十七年度の敬老会が町の主催で赤池中学校体育館で行なわれました。当町の敬老該当者は三五三名でそのうち出席者は二五六名です。当日は各支所の主な場所に仮バス待合所を置き、マイクローバスで老人を体育館まで送り迎えして



一日を楽しく過ごすお年寄りの人達
(赤池中学校体育館にて)

多くの出席者を募ることができ、アトラクション等で一日楽しく過ごし無事敬老会を終えました。老人達は来年もこの様な催しがあつて欲しいものだといっていました。

とじて保存して下さい。

老人のみなさんご苦労さま

赤池町長 池 永 輝 昭

この過ぎ行きし人生の中には、多の困難とめまぐるしい社会の変動に遭遇された訳です。この様な社会の中で喜びや悲しみをかみしめ、家族のため町のため又、社会のため、ひいては国家のために、有形、無形の重荷を背負い、歩んでこられた皆様方の御苦労に深甚の謝意を申し述べたいと存じます。

我国の老人福祉行政を他の先進国と比べてみると、如何に貧困であるかを今ベストセラーとして多くの人に読まれている「恍惚の人」の主人公「昭子」は著者「有吉佐和子」にかわって訴え我国の今後の老人対策に多くの問題を投げかけております。七十才以上の老人医療費は、無料になったものの先進諸国にくらべて随分と遅れています。当町に

「敬老の日」にあたり、心から感謝と敬老の誠をささげたいと存じます。

皆様は、明治、大正、昭和の三代に及ぶ移りゆく歴史の中で長い人生を歩んで来られたのであります。

おいても一人暮らしの老人の、又今日会に出席できない寝たきり老人健康で働ける老人の仕事の問題等今後解決しなければならぬ多くの問題点をかかえております。老人福祉の一環として老人学級の設置、まだまだ働ける老人のための就労事業、町敬老年金の増額老人憩いの家の建設、老人を含めた社会福祉センターの建設などを計画しています。

皆様方の福祉と健康とそして幸福のため又、せめて赤池町に住んでいてよかったと思ひ返してよろこんでいただける町にするため積極的な行動と勇断をもって努力を続ける所存です。

これから先、皆様方の日常生活の中でお困りの点がございましたら、ご遠慮なく、役場窓口なり民生委員の方々を通じるなり、或いは直接私の所なりにご相談下さいればできる限りのご協力は惜しまないつもりです。

どうか皆様方赤池町の父として母としてこれまでの長い人生の経験者として誇りをもち続けられ、いつまでもご健健で末長く赤池町をお導き下さいますようお願いいたします。

